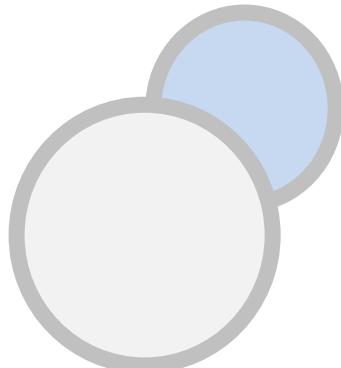


# 点検調書電子データ作成要領 渓流保全工編（概要）

令和 7 年 3 月

広島県砂防課



## 改　　訂　　履　　歴

改定年月日	改定の内容	
	旧	新
2013/3/31	新規作成	
2025/3/31	<ul style="list-style-type: none"><li>Access ファイルを Access2007 で指定</li><li>Access ファイルの拡張子を.mde で指定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>Access ファイルを Access2007-2024 (64bit 版) で指定</li><li>Access ファイルの拡張子を.accde で指定</li></ul>

## 目次

第1章 一般	1
1 総則	1
2 納品物	1
3 配布する資料	2
4 溪流保全工点検結果入力システムにおける注意事項	3
5 電子媒体	4
6 ウィルス対策	4
第2章 納品用電子データ作成時の留意事項	5
1 画像を保存する	5
2 電子データを圧縮する	5
3 電子媒体に複製する	7
第3章 システムの概要	8
1 溪流保全工点検結果入力システムの概要	8
2 画面遷移図	9
3 業務の流れ	10
第4章 点検前の事前準備について	11
1 概要	11
2 点検時に持参するもの	11
3 点検場所の周辺情報を点検調書から確認する	12
第5章 点検結果登録の留意事項について	13
1 GPS 付デジタルカメラを使用して簡単に点検登録する	13
2 溪流保全工ごとに変状番号を記載した位置図を登録する	14
3 変状箇所ごとに変状明細（変状の状況、座標）を登録する	15
4 変状箇所ごとに変状写真の画像、座標を登録する	16
5 溪流保全工ごとに写真番号を記載した位置図を登録する	17
6 写真番号ごとに設備写真の画像、座標を登録する	17
7 溪流情報に修正が必要な場合	18
8 点検結果登録の完了	18
第6章 その他注意事項	19
1 変状明細入力時の前回との差異について	19
2 画像登録時のファイルサイズ等について	19
3 画像登録時のサイズの違いについて	20
4 変状写真位置図の作成について	21

# 第1章 一般

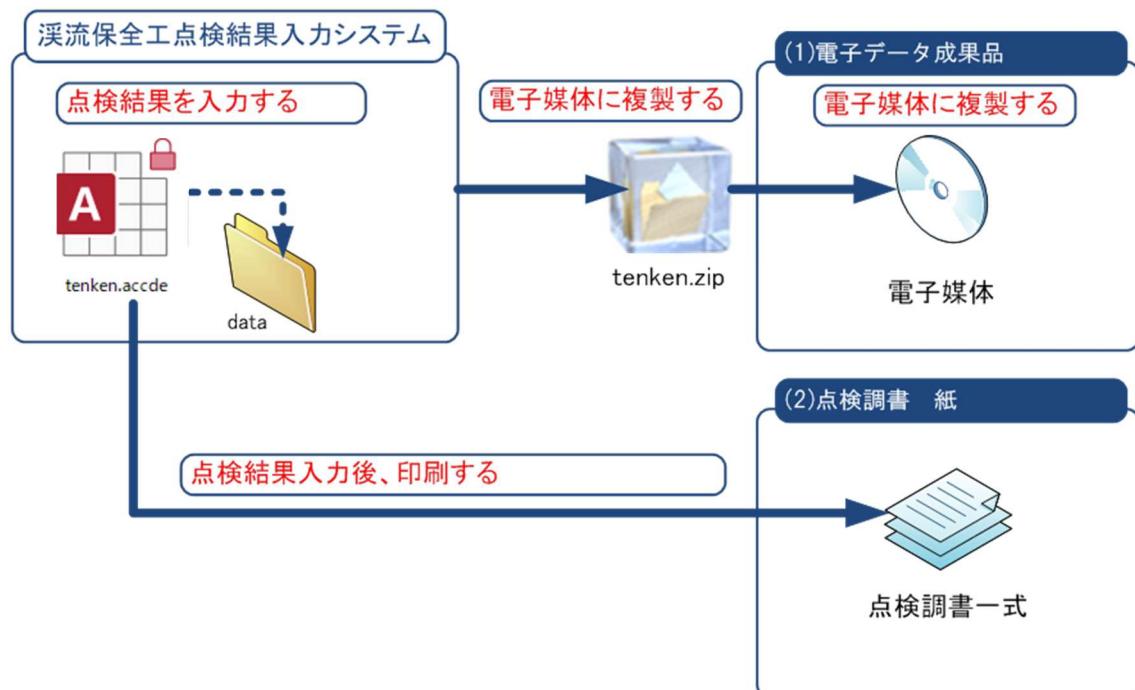
## 1 総則

渓流保全工点検調書電子データ作成要領（以下、本要領）は、渓流保全工アセットマネジメントにおける設備点検に適用します。

## 2 納品物

納品物は以下のとおりである。

- (1) 電子データ成果品 · · · · · 原則として CD-R とする
- (2) 点検調書 · · · · · 紙



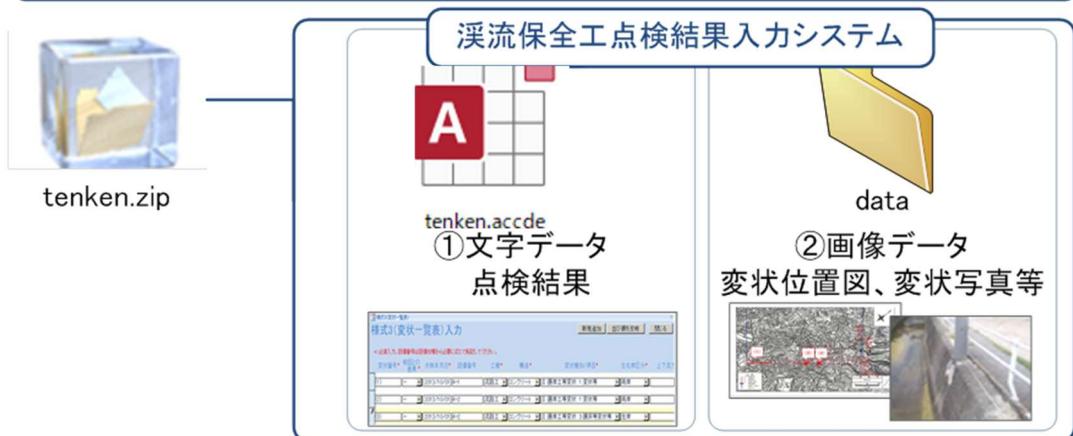
### 3 配布する資料

点検結果の電子データを作成するため、以下の資料を配布する。

- (1)渓流保全工点検結果入力システム（Access ファイル）
- (2)砂防設備台帳（PDF ファイル）
- (3)点検調書（別添）（PDF ファイル） 点検時の対策区分入力方法を記載

Access ファイルは Access2007-2024（64bit 版）形式で配布します。

#### (1)渓流保全工点検結果入力システム（Access ファイル）



#### (2)砂防設備台帳（PDF ファイル）



##### ① 文字データ

文字データは、砂防課より配布する渓流保全工点検結果入力システム（Access2007-2024（64bit 版）形式のファイル）に必要なデータを入力して作成する。

##### ② 画像データ （画像データは JPEG 形式）

###### 1)位置図

点検情報位置図、変状箇所位置図、設備等位置図

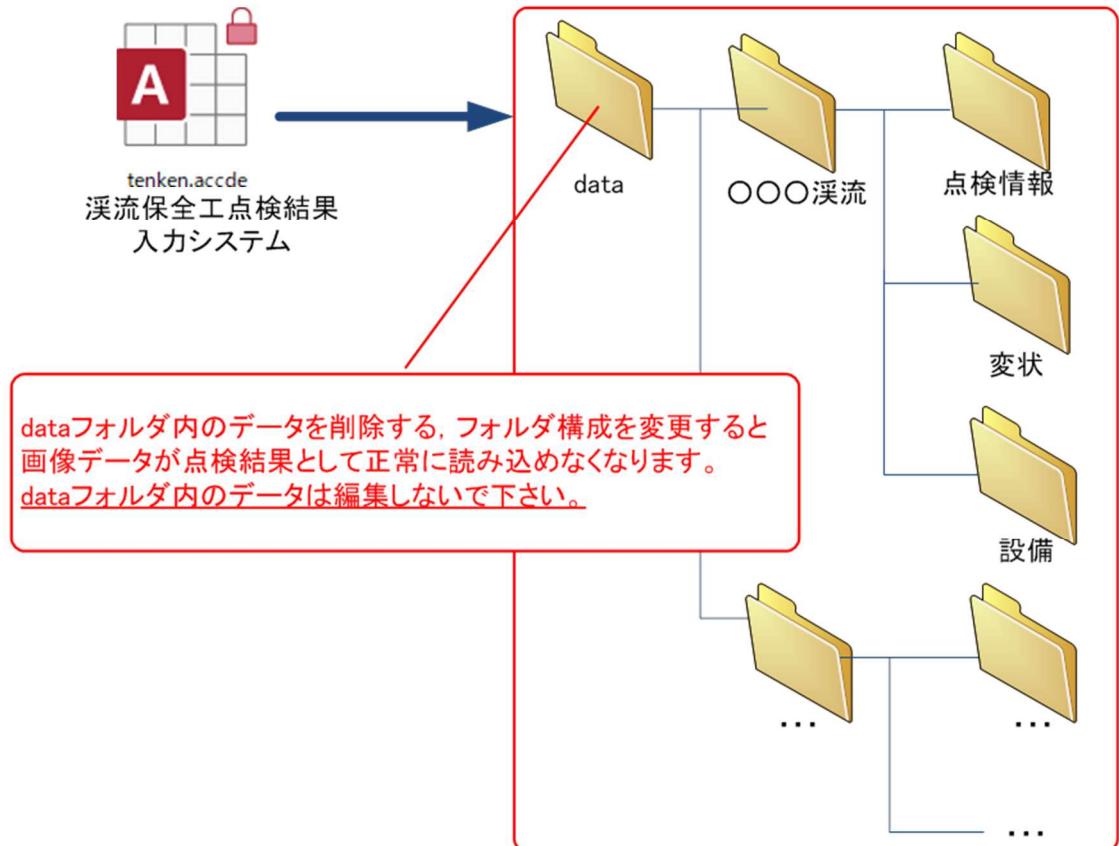
###### 2)写真

点検情報写真、変状写真、設備写真

## 4 溪流保全工点検結果入力システムにおける注意事項

溪流保全工点検結果入力システムは Access ファイルです。Access ファイルは Access2007-2024 (64bit 版) 形式で配布する。

点検結果入力システムで画像を登録すると、自動でdataフォルダにデータが保存されます。



## 5 電子媒体

電子媒体は原則として CD-R とする。論理フォーマットは ISO9660(レベル 1)を原則とする。

・電子媒体には以下の内容を含むラベルを貼ること。

- (1) タイトル
  - (2) 溪流名
  - (3) 市町
  - (4) 点検年月及び作成年月日
  - (5) 受注者名
- ・電子媒体を入れるプラスチックケースの背表紙に、以下の内容を含むラベルを貼ること。
- (1) タイトル
  - (2) 溪流名
  - (3) 点検年月及び作成年月日

## 6 ウィルス対策

納品前に以下の項目に従ってウィルス対策を行う。

- (1) 最終成果品が完成した時点で、ウィルスチェックを行う。
- (2) ウィルス対策ソフトは、シェアの高いものを利用する。
- (3) ウィルス対策ソフトは、最新のデータに更新したものを利用する。

ウィルスに感染したデータが納品されることは無いよう、納品前に必ずウィルスチェックを行う。最新のウィルスも確実に検出できるよう、ウィルス対策ソフトはなるべくシェアが高いソフトを利用し、ウィルス検出用のデータは最新のものを利用する。なお、ウィルス検出用のデータの更新方法はウィルス対策ソフトにより異なるが、通常はインターネットからデータをダウンロードするのが一般的である。

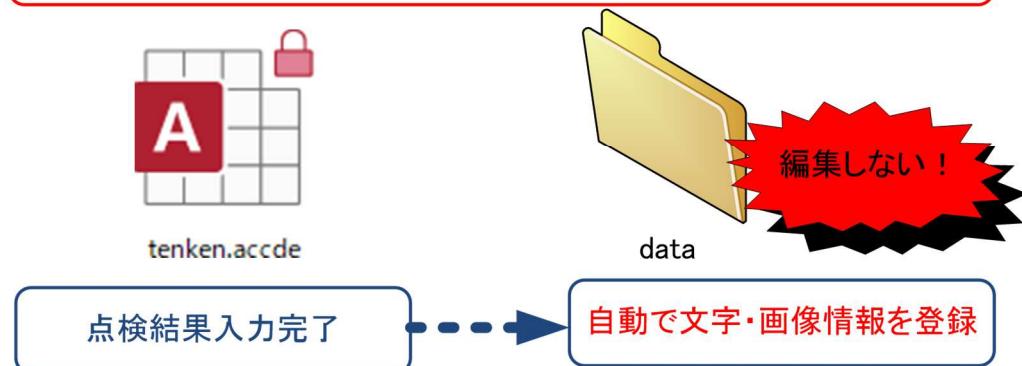
## 第2章 納品用電子データ作成時の留意事項

点検結果入力システムを以下本システムとする。

### 1 画像を保存する

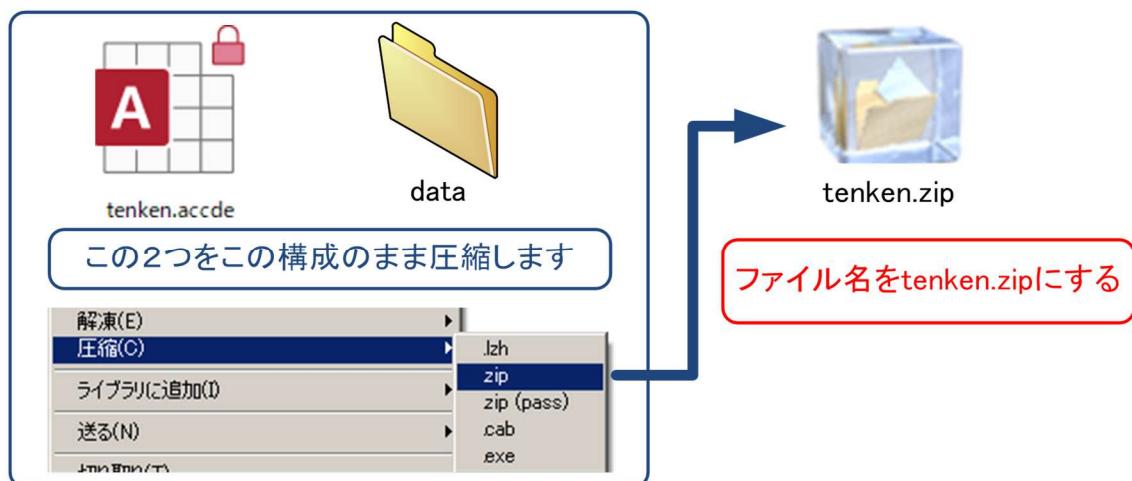
本システムから、点検対象渓流について点検結果を入力すると、data フォルダ内に自動で画像が保存されます。data フォルダは編集しないで下さい。

点検結果を入力すると、data フォルダ内に自動で画像が保存されます。



### 2 電子データを圧縮する

渓流保全工点検結果入力システム(tenken.accde)で登録した結果を圧縮して、点検調書電子データ (tenken.zip) を作成します。data フォルダ内のデータを削除する、  
フォルダ構成を変更すると画像データが点検結果として正常に読み込めなくなります。  
data フォルダ内のデータは編集しないで下さい。

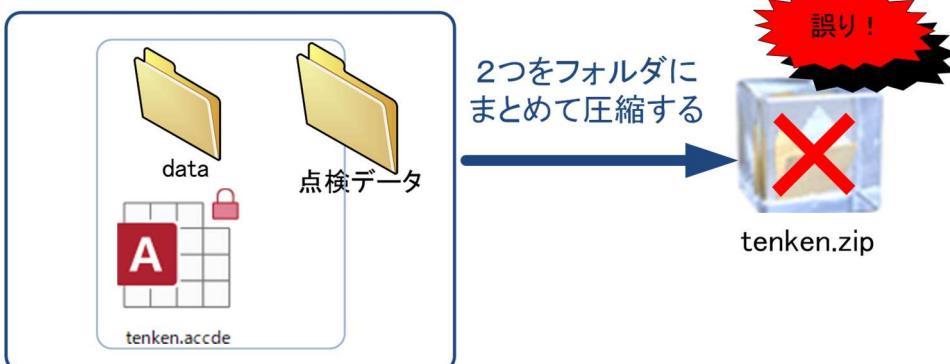


正) 正しい納品用電子ファイルの圧縮方法



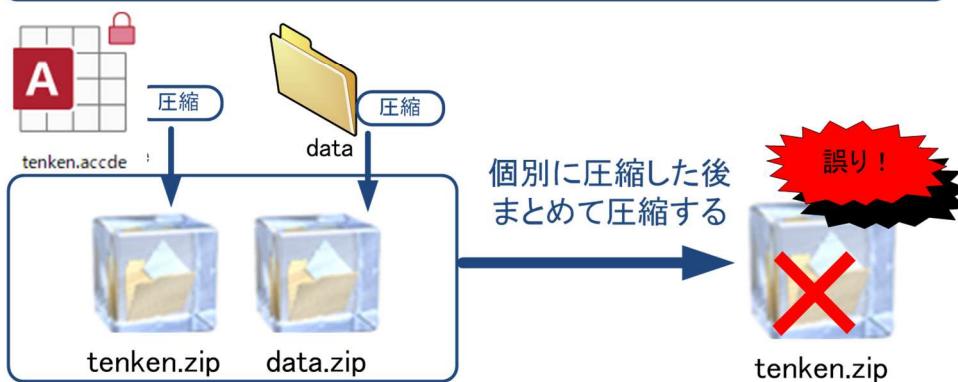
構成を変えずに圧縮する

誤) 誤った納品用電子ファイルの圧縮方法①



別のフォルダにまとめた後、圧縮しない

誤) 誤った納品用電子ファイルの圧縮方法②



個別に圧縮した後、まとめて圧縮しない

### 3 電子媒体に複製する

作成した点検調書電子データ（tenken.zip）を電子媒体に複製します。

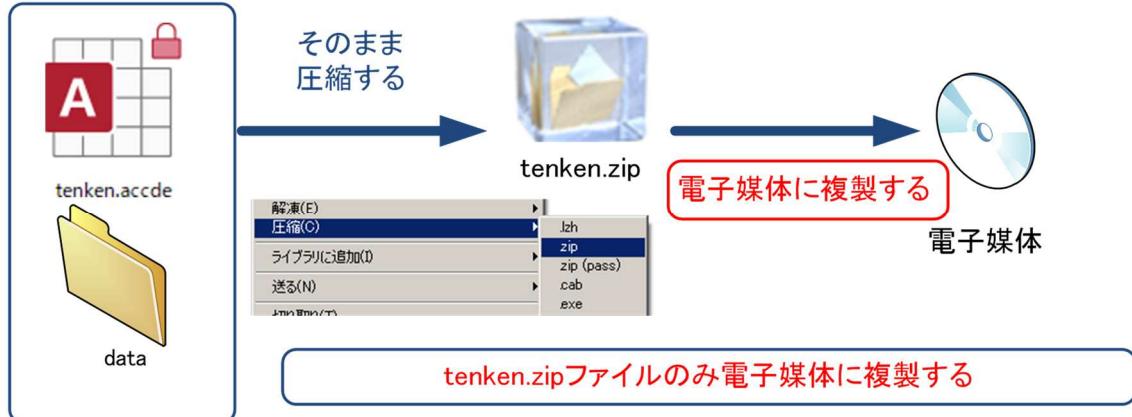


図 1 電子データ作成イメージ

## 第3章 システムの概要

### 1 溪流保全工点検結果入力システムの概要

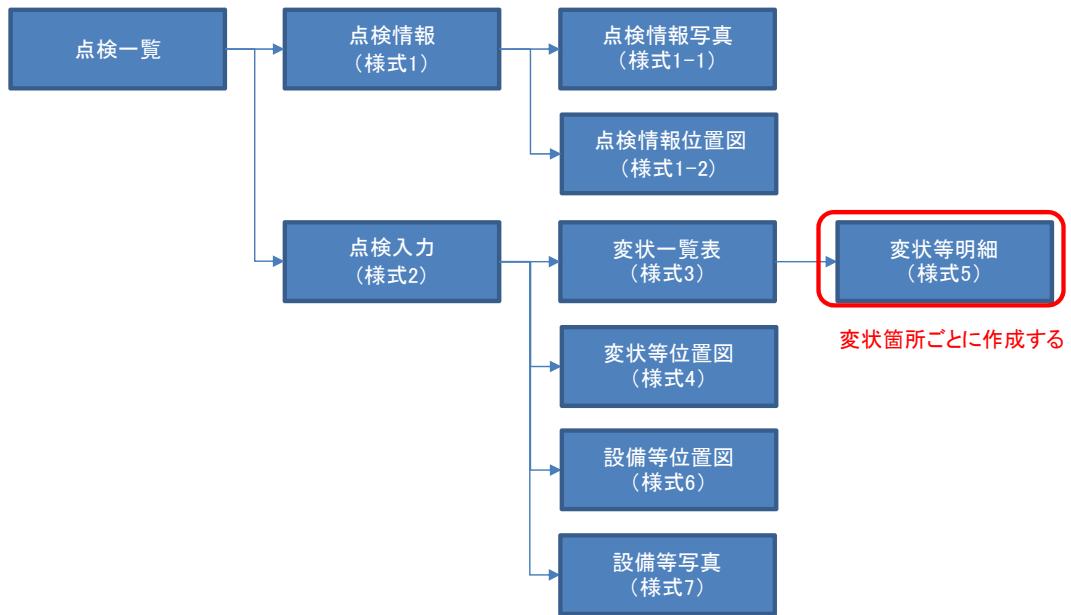
溪流保全工の点検結果は、溪流保全工点検結果入力システムに登録する。その登録結果をもとに点検調書の電子データを作成する。なお、溪流保全工点検結果入力システムはAccess2007-2024（64bit版）ファイル形式である。溪流保全工点検結果入力システム入力結果と、作成した点検調書の電子データの対応について次に示す。

表 1 溪流保全工点検結果入力システム及び点検調書の対応一覧

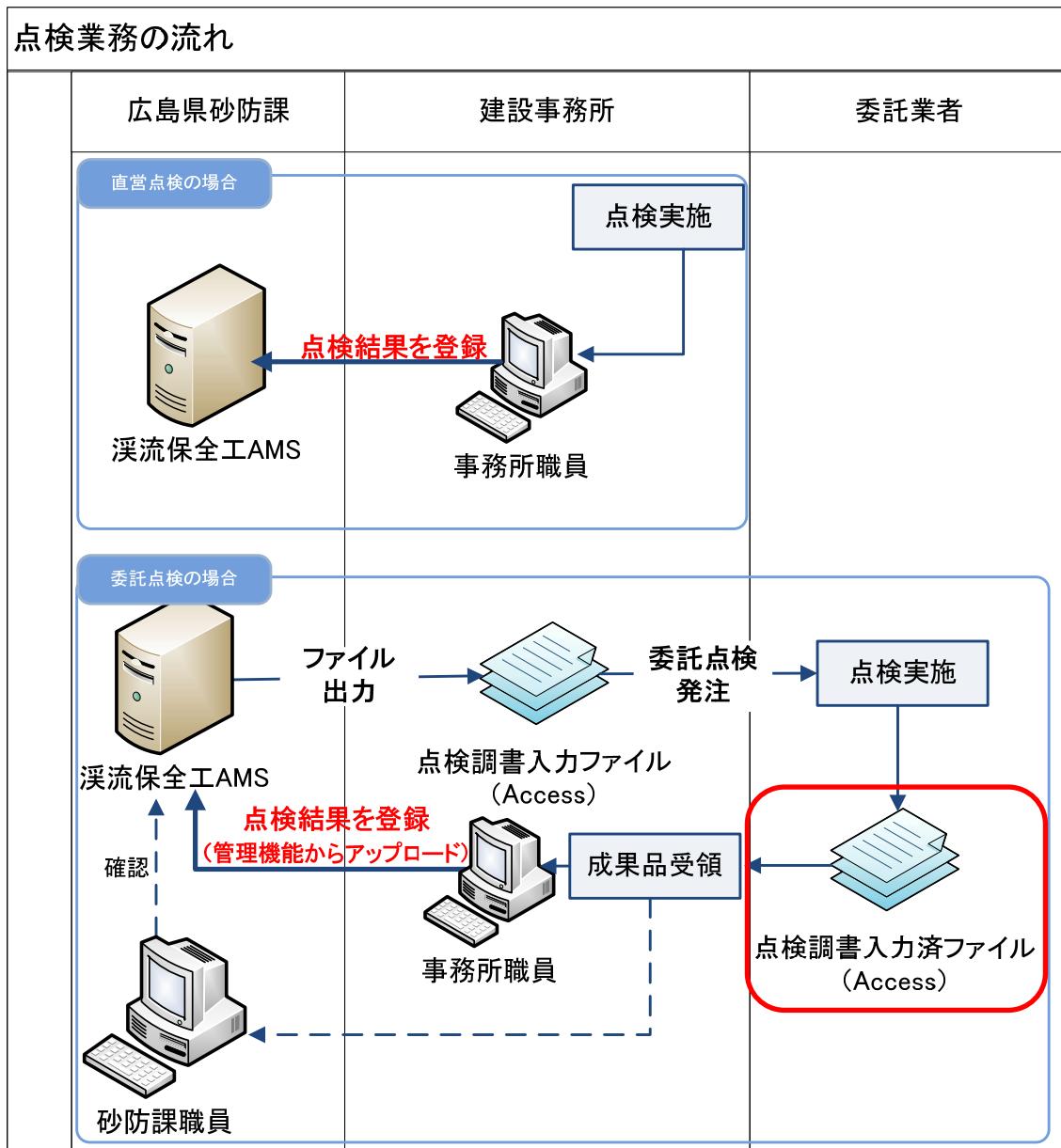
No.	溪流保全工点検結果入力システム	点検調書
1.	点検一覧	—
2.	様式 1 入力 画面 様式 1-1（点検情報写真）入力 画面	点検調書（様式 1-1 点検情報）
3.	様式 1-2（点検情報位置図）入力 画面	点検調書（様式 1-2 点検情報位置図）
4.	点検入力 画面	点検調書（様式 2 点検総括）
5.	様式 3（変状一覧表）入力 画面	点検調書（様式 3 変状一覧表）
6.	様式 4（変状等位置図）入力 画面	点検調書（様式 4 変状等位置図）
7.	様式 5（変状等明細）入力 画面	点検調書（様式 5 変状等明細）
8.	様式 6（設備等位置図）入力 画面	点検調書（様式 6 設備等位置図）
9.	様式 7（設備等写真）入力 画面	点検調書（様式 7 設備等写真）
10.	参考資料のため印刷結果として出力	点検調書（別添）

## 2 画面遷移図

溪流保全工点検結果入力システムの画面遷移を次に示す。



### 3 業務の流れ



赤枠の作業を行います。

## 第4章 点検前の事前準備について

### 1 概要

以下のマニュアルを参照すること

- 1) 個別施設維持管理ガイドライン【渓流保全工編】
- 2) 施設点検マニュアル

### 2 点検時に持参するもの

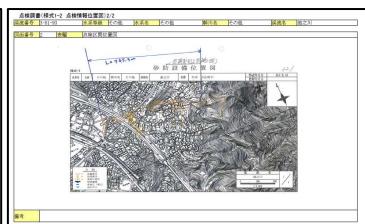
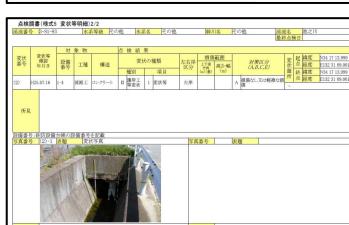
- 1) ロープ、はしご等点検時に必要な道具
- 2) GPS 付デジタルカメラ
- 3) 砂防設備台帳 点検対象渓流分
- 4) 最終点検後の点検調書 対象渓流分

初回点検であれば、点検調書ひな形を準備します。渓流保全工点検結果入力システムから出力出来ます。

- 5) 位置情報を確認できるもの

点検調書で変状箇所の座標を入力する必要があります。

#### 最終点検後の点検調書サンプル

### 3 点検場所の周辺情報を点検調書から確認する

点検調書 1-1、点検調書 1-2 で点検する渓流保全工を確認できます。

## 点検調書（様式 1-1 点検情報）

### 点検する渓流保全工の周辺情報を確認

点検調書（様式 1-2 点検情報位置図）1/2

点検する渓流保全工の位置を確認

点検調書(様式1-2 点検情報位置図)2/2

渓流番号	3-81-93	水系等級	その他	水系名	その他	幹川名	その他	渓流名	池之川																																								
図面番号	2	表題	点検区間位置図																																														
<p>一点観測(上流側)</p> <p>砂防設備位置図</p> <p>様式-2</p> <table border="1"> <tr> <td>水系名</td> <td>当路</td> <td>その他</td> <td>幹川名</td> <td>その他</td> <td>支川名</td> <td>その他</td> <td>測量</td> <td>監査</td> <td>監査</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天元町字</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">作成年月日 昭76.10</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">更新年月日</td> </tr> </table>										水系名	当路	その他	幹川名	その他	支川名	その他	測量	監査	監査								天元町字								作成年月日 昭76.10										更新年月日				
水系名	当路	その他	幹川名	その他	支川名	その他	測量	監査	監査																																								
							天元町字																																										
					作成年月日 昭76.10																																												
					更新年月日																																												

点検調書（様式 1-2 点検情報位置図）2/2

### 点検する渓流保全工の点検対象区間を確認

## 第5章 点検結果登録の留意事項について

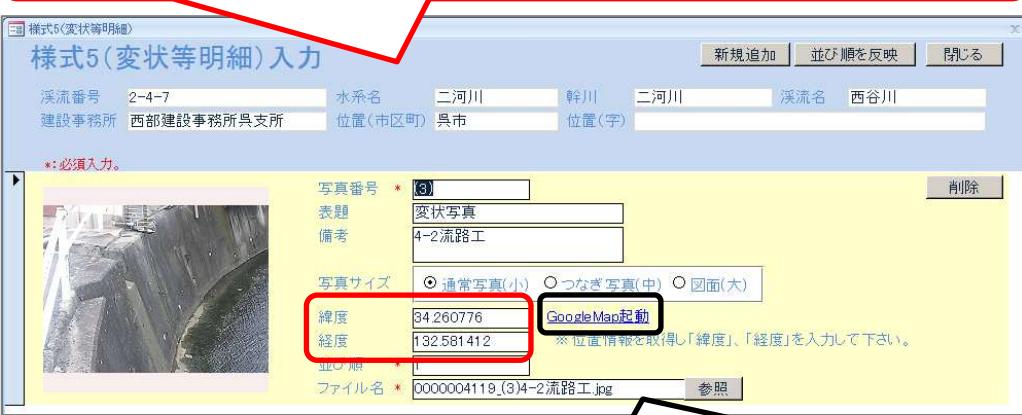
### 1 GPS 付デジタルカメラを使用して簡単に点検登録する

溪流保全工の点検では、変状箇所や変状写真の座標を入力する必要があります。GPS 付デジタルカメラで撮影した写真を登録すると簡単に座標入力できます。



変状写真の座標を登録

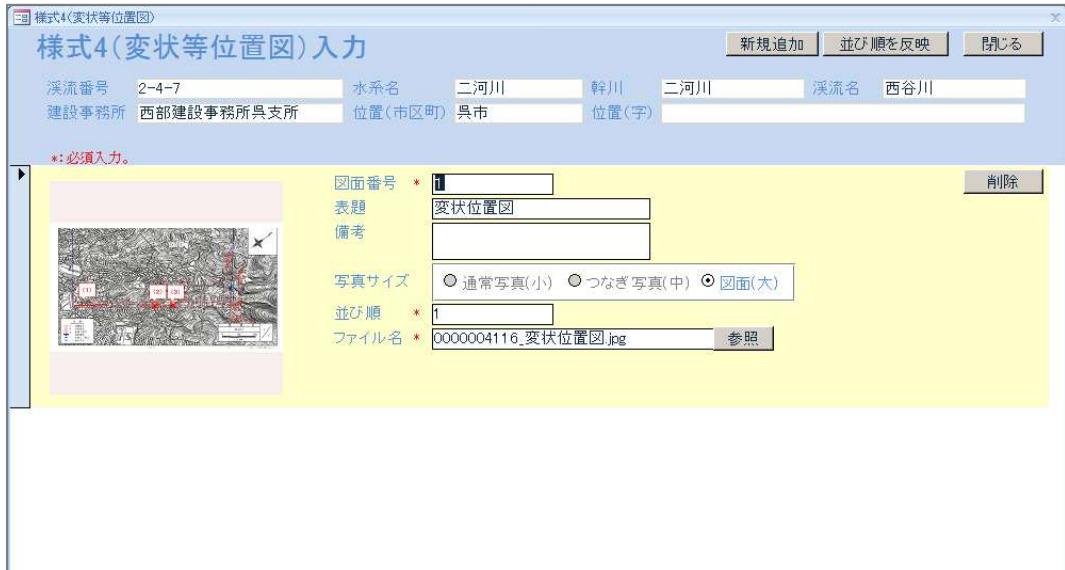
GPS 付カメラで撮影した写真を登録すると自動で座標が入力されます



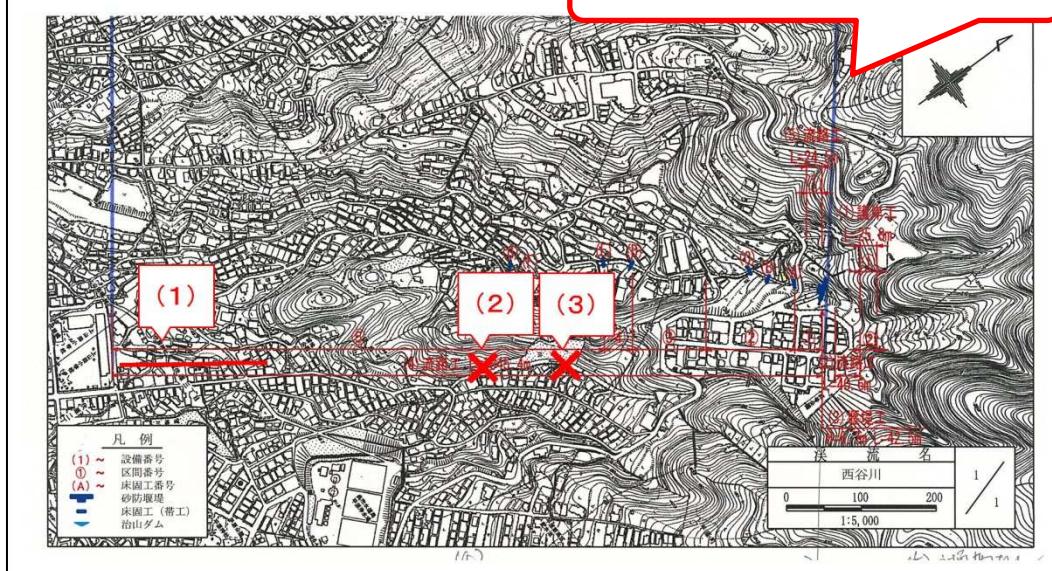
GPS 付カメラで撮影していない等、座標が入力されない場合は Google Maps から座標を取得します

## 2 溪流保全工ごとに変状番号を記載した位置図を登録する

変状箇所に変状番号を設定します。同じ設備に複数の変状箇所があれば変状番号を分けて設定します。点検対象区間が長く変状位置図が1枚で収まらない場合は複数枚に分けて、登録して下さい。



変状箇所ごとに変状番号を設定



### 3 変状箇所ごとに変状明細（変状の状況、座標）を登録する

変状位置図に記載した変状箇所ごとに変状明細を登録します。同じ設備でも変状箇所が複数あれば変状番号を分けて登録します。

※変状位置図に記載した変状番号と一致させて下さい。変状番号（1）、（2）、（3）

様式3(変状一覧表)入力

\*: 必須入力、設備番号は設備台帳から必要に応じて転記してください。

変状番号*	前回との差異*	点検年月日*	設備番号	工種*	構造*	変状種別/項目*	左右岸区分*	上下流方
(1)	—	2013/10/01	4-1	流路工	コンクリート	Ⅱ:護岸工等変状 1:変状等	両岸	
(2)	—	2013/10/01	4-2	流路工	コンクリート	Ⅱ:護岸工等変状 1:変状等	両岸	
(3)	—	2013/10/01	4-2	流路工	コンクリート	Ⅱ:護岸工等変状 3:護床等変状等	左岸	

変状箇所：(1)、(2)、(3) 座標登録する

設備番号:4-2

設備番号:4-2  
変状箇所：(2)、(3)

設備番号:4-1

西谷町  
上山田町  
畠原町  
町  
万伏

#### 4 変状箇所ごとに変状写真の画像、座標を登録する



## 5 溪流保全工ごとに写真番号を記載した位置図を登録する

様式6(設備等位置図)入力

溪流番号 2-4-7 水系名 二河川 鮎川 二河川 溪流名 西谷川  
建設事務所 西部建設事務所呉支所 位置(市区町) 呉市 位置(字)

\*:必須入力。

図面番号 \* 1 削除  
表題 設備点検位置図  
備考  
写真サイズ  通常写真(小)  つなぎ写真(中)  図面(大)  
並び順 \* 1  
ファイル名 \* 設備位置図\_1.jpg 参照

写真番号を設定

## 6 写真番号ごとに設備写真の画像、座標を登録する

※設備等位置図に記載した写真番号と一致させて下さい。写真番号①、②

設備等位置図の写真番号と、  
設備写真の写真番号を一致さ  
せること

様式7(設備等写真)入力

溪流番号 2-4-7 水系名 二河川 鮎川 二河川 溪流名 西谷川  
建設事務所 西部建設事務所呉支所 位置(市区町)

\*:必須入力。

①

写真番号 ① 砂防指定  
表題 砂防指定  
備考  
写真サイズ  通常写真(小)  つなぎ写真(中)  図面(大)  
緯度  
経度  
並び順 \* 1  
\* 砂防指定地.jpg 参照

Google Map起動  
※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。

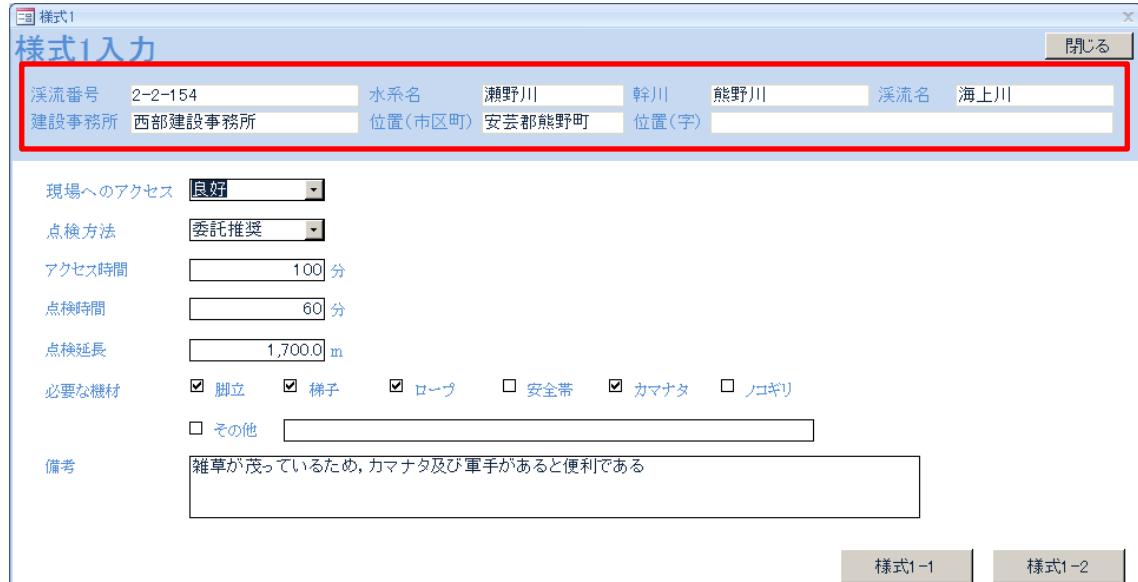
②

写真番号 ② 下流付近  
表題 下流付近  
備考  
写真サイズ  通常写真(小)  つなぎ写真(中)  図面(大)  
緯度  
経度  
並び順 \* 2  
\* 下流付近.jpg 参照

Google Map起動  
※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。

## 7 溪流情報に修正が必要な場合

本システムでは、溪流番号、溪流名といった溪流情報は編集できません。修正が必要な場合は各建設事務所に連絡をお願いします。



The screenshot shows the 'Style 1 Input' window with a red box highlighting the top section containing stream information fields. The fields are: 溪流番号 (Stream Number) 2-2-154, 水系名 (Water System Name) 潟野川, 幹川 (Main River) 熊野川, 溪流名 (Stream Name) 海上川, 建設事務所 (Construction Office) 西部建設事務所, 位置(市区町) (Location (City/Town)) 安芸郡熊野町, and 位置(字) (Location (Block)).

Below this, there are input fields for site access, inspection methods, and equipment required. The '備考' (Remarks) section contains the note: '雑草が茂っているため、力マナタ及び軍手があると便利である' (Because weeds are dense, it is convenient to have a forceps and gloves). At the bottom are buttons for 'Style 1-1' and 'Style 1-2'.

## 8 点検結果登録の完了

点検結果の登録が完了したら、入力状況を「入力済み」に切り替えます。



The screenshot shows the 'Inspection Result List' window with a table of inspection results. The columns are: 水系等級 (Water System Grade), 水系名 (Water System Name), 幹川名 (Main River Name), 溪流名 (Stream Name), 事務所 (Construction Office), 市区町 (City/Town), 字 (Block), and 入力状況 (Input Status). The 'Input Status' column contains dropdown menus with the following values: 入力済み (Input Completed) for the first row, 未入力 (Not Input) for the second row, and 未入力 (Not Input) for the third row. The first row is highlighted with a red box.

## 第6章 その他注意事項

### 1 変状明細入力時の前回との差異について

様式3(変状一覧表)入力

\*: 必須入力、設備番号は設備台帳から必要に応じて転記してください。

並び順*	変状番号*	前回との差異*	点検年月日*	設備番号	工種*	構造*	変状種別/項目*
削除	様式5	1	2013/07/01	1-1	流路工	ブロック積	I: 河積減少 1: 土砂堆積
*	削除	様式5	無	有			

前回との差異の入力について

一: 新規点検の場合に選択します

無: 2回目以降の点検の場合、前回点検と変状に差異が見られない場合に選択します

有: 2回目以降の点検の場合、前回点検と変状に差異が見られる場合に選択します

### 2 画像登録時のファイルサイズ等について

- 帳票へ印刷するため、写真や図面は JPEG 形式で登録ください。
- ファイルサイズは 1MB/枚、1 点検あたり最大 30 枚まで登録できます。
- 写真登録する時、座標を登録すると、写真等を地図上に表示することができます。
- GPS 付デジタルカメラで撮影した写真は、ファイルを登録すると自動で座標が登録できます。

様式5(変状等明細)入力

\*: 必須入力。

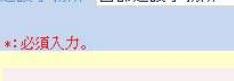
渓流番号	1-9-360	水系名	太田川	幹川	安川	渓流名	中畠川		
建設事務所	西部建設事務所	位置(市区町)	広島市安佐南区	位置(字)	沼田町伴宮野谷				
		写真番号*	①-1	表題	変状写真1	削除			
		備考							
		写真サイズ	<input checked="" type="radio"/> 通常写真(小) <input type="radio"/> つなぎ写真(中) <input type="radio"/> 図面(大)						
		緯度	34.478832	Google Map起動					
		経度	132.417028	※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。					
		並び順*	1	ファイル名*	0000002378_変状写真①-1変状1.jpg	参照			
		写真番号*	①-2	表題	変状箇所スケッチ	削除			
		備考							
		写真サイズ	<input checked="" type="radio"/> 通常写真(小) <input type="radio"/> つなぎ写真(中) <input type="radio"/> 図面(大)						
		緯度	34.476921	Google Map起動					
		経度	132.414066	※ 位置情報を取得し「緯度」、「経度」を入力して下さい。					
		並び順*	2	ファイル名*	0000002381_変状写真①-2変状スケッチ.jpg	参照			

### 3 画像登録時のサイズの違いについて

様式4(変状等位置図)入力

新規追加	並び順を反映	閉じる					
溪流番号	1-9-360	水系名	太田川	幹川	安川	溪流名	中畠川
建設事務所	西部建設事務所	位置(市区町)	広島市安佐南区	位置(字)	沼田町伴宮野谷		

\*:必須入力。



①

図面番号 \*

表題

備考

写真サイズ

 通常写真(小)
  つなぎ写真(中)
  図面(大)

並び順 \*

ファイル名 \*

参照

■ 様式5(変状等明細)

## 様式5(変状等明細)入力

新規追加 並び順を反映 閉じる

渓流番号	1-9-360	水系名	太田川	幹川	安川	渓流名	中畠川
建設事務所	西部建設事務所	位置(市区町)	広島市安佐南区	位置(字)	沼田町伴宮野谷		

\*:必須入力。



写真番号 \* ①-1

表題 变状写真1

備考

写真サイズ  通常写真(小)  つなぎ写真(中)  図面(大)

緯度 34.478832

経度 132.417028

並び順 \* 1

ファイル名 \* 0000002378\_変状写真①-1\_変状1.jpg

(2)

#### 4 変状写真位置図の作成について

次のような作成方法を推奨します。

